

事例から学ぶ！！！

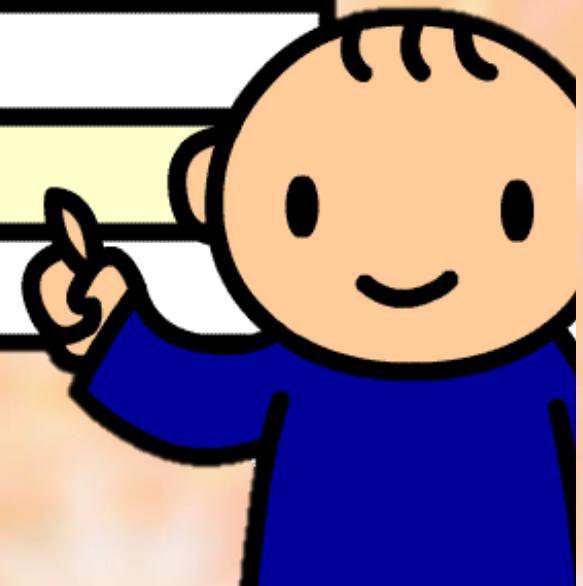
“できる”を引き出す・拡げる支援

～その子に適した構造化を使って～

今回のテーマは・・・

スケジュール
について

月	日(○)
1	○ ○ ○
2	○ ○
3	○ ○ ○ ○
4	○ ○
5	○ ○



事例1 スケジュールを勝手に変えてしまう





自分用のスケジュールから
嫌なものを外したり、
好きなものを勝手に付けたりします…



チェックポイント

- ①本人はそのスケジュールを理解していますか？
- ②活動への見通しは持てていますか？
- ③本人はそのスケジュールをどのように使っていますか？

アセスメント
してみましょう！



- 
- ①本人はスケジュールを「やる順番が示される
もの」というよりは、「好きなものを選べるもの」と理解していそう
 - ②活動への見通しは持てている
 - ③本人はスケジュールをコミュニケーションツール
のように使っている

アセスメントの
結果から
考えられること！



スケジュールカードとコミュニケーションカードを混同している可能性が高い

- ・本人にとってスケジュールは「好きなものを選べるもの」となっており、本来のスケジュールの機能(次の活動を知るもの)としては理解していない。
→次に何をするのかが伝わりやすい形態に変更する
- ・スケジュールに提示する活動は子ども達が嫌なものもある。活動の全てを好きになる必要はない。
- ・「何をするのか分かって(渋々だけど)取り組む」と、「何をするのか分からず、強引にさせられる」とは大きく違う



「Aくんが次に何をするのか分かる」スケジュールへ ～形態の再構造化を考えよう！！～

<例>

- ・写真カードではなく、絵カード、具体物で示す
- ・具体物にカードを貼ったものを手渡しする
- ・提示する個数を減らす(次の活動のみを提示)
- ・違うことを言ってきた時には、そのことは受け止めながらも、「今はこれをするよ。」と(活動を)伝え続ける





「スケジュール」はこちらが伝えることを
理解するための視覚的手掛けり
PECSは自分を表現するためのカード

コミュニケーション機能の
違いを整理しよう！



皆さんいかがでしたか？
スケジュールの使い方について、
個々の子ども達に適しているのか、
改めて見直してみてはいかがでしょうか？！
新たな発見があるかもしれません！！

次回は「タイマーを用いたスケジュール」
について、お伝えいたします！！
お楽しみに♪

